

志田^{ちかこ}周子医師 生誕100周年

～無医村に捧げた生涯～

旧・大井沢村で、生涯、医療に従事した女医・志田周子(ちかこ)。父・莊次郎、母・せいの長女として1910年に誕生。幼いときから聡明(そうめい)だった周子は、医者のない村の状況を何とかしたいという父の期待を一身に受けながら、医学の道を目指した。

33年、見事医師免許を取得。東京の病院で医師として働き始めた。しかし、その2年後、「3年間だけ」と父に懇願され、期限付きで故郷の大井沢に戻ったのだ。

重責の中で苦勞しながらも、村民の健康を気遣い、診療所に寝泊まりして24時間体制で診療。その後、母と弟の死をきっかけに、生涯、この地で医療を続けることを決心した。また、地区婦人会長や村議会議員として活動するとともに、アララギ派の歌人としても秀作を残している。

51歳という若さでこの世を去るまで、献身的に村民の命を守り続けた志田周子。今もなお、その功績は多くの人の心に刻まれている。

山形女性医師ネットワーク



会長 池田 こずえ

<http://yamajoseiishinet.fc2web.com/>

婦人科・内科

さとこ女性クリニック

院長 井上 聡子

山形市五十鈴1-2-17

☎023-615-3105